

会議要録

会議名	第3回 児童の朝の居場所づくり事業(モーニングスクール)及び港区立学校図書館運営業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和8年2月13日(金曜日) 午後3時00分から午後5時00分まで
開催場所	教育委員会室
委員	(出席者)5名 舞田委員長、茂木副委員長、岡田委員、谷田川委員、大久保委員 (欠席者)なし
事務局	教職員人事係 鈴木、有川 統括指導主事 富樫 指導主事 加藤
傍聴者	なし
会議次第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 (1)プレゼンテーション (2)質疑応答 (3)採点 4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 その他 6 閉会
配付資料	[配付資料] 資料1 第二次審査実施概要 資料2 第3回選考委員会進行スケジュール 資料3 第二次審査採点基準表(2事業者分) 資料4 第一次審査・第二次審査集計結果 資料5 第2回港児童の朝の居場所づくり事業(モーニングスクール)及び港区立学校図書館運営業務委託事業候補者選考委員会会議要録 参考資料1 第一次審査集計結果 参考資料2 事業候補者選考基準 参考資料3 仕様書(案) 参考資料3-2仕様書別表

会議の結果及び主要な発言

1 開会

事務局

2 第二次審査実施概要について (事務局説明)

A 委員

事業者への共通質問として、私は、モーニングスクールにおける学校との関わり方、特に事故や災害などの緊急時について、両事業者へ確認したいと思っています。モーニングスクールは教職員の勤務時間外となるため、教員の働き方改革という観点からも、学校に頼るのではなく、初動を事業者で対応してもらいたいと考えています。

委員長

モーニングスクールにおける学校との関わり方について、共通質問としてよいでしょうか。
(委員一同 異議なし)

3 プレゼンテーション及びヒアリングの実施について

【A事業者】

<プレゼンテーション>
(企画提案書の説明)

A 委員

<ヒアリング>
モーニングスクールにおける学校との関わり方、特に事故や災害などの緊急時にどのようにスタッフの方が関わっていくのか教えてください。

A 事業者

6 ページに事故や災害が発生した時の対応シミュレーションについて記載しています。モーニングスクールの場合、職員室に先生方がいない時間だと思えますので、怪我などが発生した場合は救急箱を用意し小さい怪我の場合は対応します。状況によって救急車を呼ぶと判断した場合は、携帯電話を配備していますので、救急車を要請します。同時に保護者へも連絡し、来ていただきます。職員室に先生が来たら、先生にも連絡し、一緒に対応したいと思いません。事故などが発生した場合は、報告シートを提出してもらい、全スタッフにも共有いたします。

A 委員

授業中に発生した場合には先生の指示に従うということでしょうか。

A 事業者

そうです。学校司書・学校支援員が勤務している時間帯は授業中となるため、必ず引率の先生がいますので、先生の指示に従って一緒に動くと考えています。

B 委員

ステップアップ的な研修はどのように考えていますか。

A 事業者

1 年目は国語の授業の単元に沿った内容、図書点検の前は図書点検の研修など織り交ぜて実施していきます。2 年目以降は図書館学の整理、分類について、色々な別置方法の細かい内容などを考えています。

B 委員	子どもや保護者など人との関わり方の研修についてはどうでしょうか。
A 事業者	資料に記載している以外にも研修を用意しています。例えば、最近行った研修では、生徒とのコミュニケーションについて、悩みなどを情報共有したり、指導主事に来ていただき学校の指導状況や言うことを聞いてくれない児童への対応方法の成功例を共有しています。先生方の対応に悩むスタッフもいますので、先輩からグループ討議で解決を図ったりしています。配置前研修という形で、児童生徒とのコミュニケーション、学校の先生との関わり方。個人情報扱い方についても研修を実施しています。
C 委員	様式6の業務従事者の配置計画は1校あたりの配置計画でしょうか。
A 事業者	そうです。
C 委員	STEAM教育について、図書館を活用してどのようなアイデアがありますか。
A 事業者	私たちは授業をすることはできないので、授業で学ぶ内容のヒントを図書館の中の掲示物として展開したり、先生へ提案したりすることを考えています。
D 委員	学校の先生との連携について、多忙である先生方の負担とならないように資料を用意しているとのことですが、具体的にどのようにして先生方との連携をしていくのか教えてください。
A 事業者	1ヵ月に1回15分くらいの打合せができればと考えています。打ち合わせをする場合のレジュメは司書が作成し、1週間程前に事前に会社へ提出するようにしています。事前に作成することで司書の頭が整理された状態で打合せできるようにしています。補足資料4ページに記載しているように、様々なコンテンツの資料を用意しています。話し合っ資料作成するのではなく、会社で作成した資料を利用するかどうか確認するようにしています。中学校は特に忙しいと思いますので、学期ごとに単元一覧を作成し、○を付ければこの時期に自動で資料を持っていくという利用方法も行っています。
E 委員	モーニングスクールのスタッフは専用で確保すると思いますが、短期間で人数を集められるのでしょうか、学校司書、図書館支援員で無い人もいるかと思いますが、読書活動という面ではどのような研修をするのでしょうか。
A 事業者	短時間で早朝の勤務の為、時給を高く設定しています。図書館支援員が働くことも想定しています。導入研修を実施し、読み聞かせの練習をします。季節ごとの本のリストを会社から配信し、リストから読む本を選んでもらいます。巡回指導を実施しフォローアップしていきます。
	<p>【B事業者】 <プレゼンテーション> (企画提案書の説明)</p> <p><ヒアリング></p>
A 委員	モーニングスクールにおける学校との関わり方、特に事故や災害などの緊急時にどのようにスタッフの方が関わっていくのか教えてください。

B 事業者	モーニングスクールの運営時間は学校の始業前となるため、基本的にはモーニングスクールのスタッフが全てを対応していきます。保護者への連絡、警察、消防署等への連絡など。そのためには学校へ事前に避難場所等の共有をしておきます。始業後は学校へ共有します。
B 委員	他の地域には無い、港区ならではのモーニングスクールを実施していくうえで、特徴をどのように考えていますか。
B 事業者	他の自治体と異なるところとして、学校図書館の読書活動の推進をしながら朝の居場所づくりをしているところ、ただの見守りではなく、図書館で学校司書、支援員が読書活動を実施するところが他には無いと考えています。
C 委員	様式6の業務従事者の配置計画について、表に記載されているのはこの事業全体の総数ということでよろしいでしょうか。
B 事業者	そうです。
C 委員	学校図書館支援業務者が70～90人と幅がありますが、モーニングスクールはその内80人となっている部分が分からなかったです。
B 事業者	学校司書と学校図書館支援業務者がおり、合わせて140名程度になると考えていますが、その内の80名がモーニングスクールも担当するという事です。
C 委員	モーニングスクールにおいて、子ども達がより読書に親しめるような方策はありますか。
B 事業者	1年生のため、まずは学校に慣れてもらいます。入学式が終わって最初に来る場所が学校図書館ということも考えられますので、楽しく読書に親しんでもらうためにはまずは絵本から始めます。徐々に学校生活に慣れていったところで、授業に沿った内容の本を紹介していくことを考えています。
D 委員	学校の学びの支援について具体的に教えてください。
B 事業者	モーニングスクールに限らず、図書館全体として、授業への対応を大事に考えています。小中学校ともに、先生方が授業で図書館を利用する際に司書がきちんと連携できるように取り組んでいきたいと考えています。
D 委員	保護者への対応について、保護者へどのように接して、安心して子どもが預けられる環境にしていくのか具体的に教えてください。
B 事業者	1年生は、子どもだけでなく保護者も初めてのことがたくさんあり、ストレスの高い状況にあると思います。きちんと寄り添って丁寧に対応するようにスタッフへ周知・研修を実施していきたいと考えています。
E 委員	モーニングスクールのスタッフも学校司書、支援員とのことですが、勤務のイメージは朝モーニングスクールの対応をしてそのまま学校図書館で勤務するということでしょうか。

B 事業者	そのような者もいます。朝だけの対応をする者もいるかと思ひます。
E 委員	学校司書は週5日配置とのことですが、支援員はどのくらい配置されますか。
B 事業者	現時点では、週2日程度の配置を考えています。
E 委員	他の自身体でも図書館運営の委託を受けていますが、課題と感じていることや工夫していこうと考えていることはありますか。
B 事業者	港区は違ふと思ひますが、全体的には少子高齢化が進んでおり、コミュニティの形成を図書館の運営の中で求められることがあります。コミュニティをどのように作っていくかが課題です。継続して事業を実施し人が集まれるようにできるだけ地域の方を巻き込んでいくような居場所づくりが大事であり課題だと認識しています。
B 委員	障害のある児童への対応でスクールボランティアを活用するとのことですが、他の地域でも経験があるのでしょうか。
B 事業者	スクールボランティアは港区が配置するため、スクールボランティアの方と連携していきたいと考えています。
B 委員	小1の壁について、原因はなんだと思ひますか。
B 事業者	私自身も子どもを2人育てており、振り替えると小学校1年生の時が子育てで一番大変な時期でした。環境の変化が激しく、保護者、子どもも慣れて行くことが大変であることが原因だと思ひています。この事業を通してバックアップしていければと考えています。
B 委員	業務従事者について、学校によって柔軟に配置するのでしょうか。
B 事業者	学校によって規模が異なるため、人数や対応の内容によって変わることもあると思ひます。
B 委員	統括責任者予定の方は、これだけの人数を統括するということで、心構えを教えてください。
B 事業者	保護者、児童・生徒の支えになれるような、専門性の持った司書・支援員を育てていきたいと考えています。子供の目線で寄り添って行けるように指導していきたいと考えています。
A 委員	e-Learning 講座はどのくらいの種類がありますか。
B 事業者	おおよそ100程度はあるかと思ひます。
事務局	4 二次審査結果及び事業候補者の選定について (資料4を配付して採点の集計結果を説明)

A 委員	<p>【二次審査の講評（A事業者）】</p> <p>業務主旨の理解について、本来の趣旨と異なると感じたところもありました。研修面において、ステップアップ部分が充実されると確かな人材が配置されるのではないかという印象でした。</p>
E 委員	<p>学校図書館の内容については、コンテンツの内容が期待できると思いました。質問の回答も適切だったと思います。一方で、モーニングスクールの人材確保について少し不安だと感じました。</p>
B 委員	<p>良いプレゼンだなと思いました。小学校の教科をよく理解されて、的確な補助をしていると思います。各担当者、各学校同士 WEB での連携もできる点も良かったです。ただ、B事業者と比べると、港区の小中学校として相応しい提案内容であったかという点について、提案の将来性、意欲について減点しました。</p>
D 委員	<p>熱心で細かい部分まで行き渡ったプレゼンだったと思います。ただ、仕組みや体制の部分について、慣れていない部分もあるのではと不安に思い減点しました。総じてハートフルな事業展開をしてくれそうだなと思いました。</p>
C 委員	<p>子ども達が読書に親しめるかどうかを重点的に評価しました。A事業者は子ども達の事を考えて、子ども達が楽しめるような提案をしていて評価しました。一方で、将来性について、どのような人材を確保できるのか、人材次第だなと不安に感じました。</p>
A 委員	<p>【二次審査の講評（B事業者）】</p> <p>避難場所を確認するなど、よく理解して提案しているなど感じました。学校司書を週5日配置というところが、学校図書館を強化できる、授業に十分に活用できると考えました。プレゼンで本事業の全体像がイメージでき、説得力があって期待できると評価しました。</p>
E 委員	<p>2点あります。1点目は安全確保や緊急対応、保護者対応が具体的に分かりやすく説明があり安心感がありました。2点目は、学校司書週5日、支援員週2日配置であり、モーニングスクールの運営についても学校司書が関わるということで期待できると感じました。</p>
B 委員	<p>港区の小中学校を意識したプレゼン内容を評価しました。人員配置についても余裕の持った人員配置をしていること、研修を通して職員を育てているなど感じました。障害児への配慮についても子どもに対して様々な人が人的な連携をとっている部分を評価しました。</p>
D 委員	<p>非常に安定感のある業務提案であり、システムティックに現場が機能することが見えやすいプレゼンでした。港区の現状理解と教育目標をきちんと見据えた提案でした。質疑応答も明快で分かりやすく、実績があるということが分かりました。一点気になった点は、読書や学習活動、子どもとの活動の具体性が無く見えてこなかったところが気になりました。</p>
C 委員	<p>子ども達への向き合い方について具体性が無かったので、具体性を持って取組を示してもらいたかったです。安全性の確保、研修に対する組織的な取組は非常に優れていると感じました。</p>

	<p>【事業候補者の決定】 (各委員修正が無いため、再集計無し)</p>
委員長	<p>二次審査の評価点数については、この点数で決定してよろしいでしょうか。 (委員一同 異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、この点数のとおり決定とします。この点数の結果をもって、当委員会として、最も得点の高いB事業者を事業候補者として決定してよろしいでしょうか。 (委員一同 異議なし)</p>
委員長	<p>それでは、そのとおりに決定します。</p> <p>→ B事業者を事業候補者とすることを決定</p>
	<p>5 閉会</p>